学校番号	201

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典A	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「改訂版　古典A　大鏡　源氏物語　諸家の文章」（第一学習社）						
副教材等	「難関私大編　古典読解問題」(駿台文庫) 「古文単語 330」(いいずな書店)「八訂版　体系古典文法」(数研出版) 「読んで見て覚える古文攻略マストアイテム76」(桐原書店)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古文は語彙・文法・長文読解の作法・予備知識・修辞の理解という語学学習のすべての学習姿勢が必要な分野である。したがって、一年間の学習を通じて、学習の到達段階を「自己把握」しながら「既習事項」の自己検証・反復学習を行い、「発展的問題演習」を行うことに尽きる。4月から12月までの時期別の達成目標を自己作成し、学習時間を適正に配分することが肝要である。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、古典を読むのに必要な知識を身に付け、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

古典などに表れた思想や感情を読み取り、人事・自然全般に通底する文化一般に触れ、様々な時代の人々の生き方や自分の生き方について考察し、我が国の伝統と文化について理解を深める。また、古典特有の表現を味わい、古典語彙と現代語彙との連続性について考察しながら、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。伝統的な言語文化についての課題を設定し、様々な資料（古文）を読んで探究し、我が国の伝統と文化について理解を深めることを目標とする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出 ・課題小テスト 等			・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出 ・課題小テスト ・定期考査 等	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出 ・課題小テスト ・定期考査 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	源氏物語	『源氏物語』 「藤壺の宮との過ち」 課題1『蜻蛉日記』 課題2『うたたね草紙』 連休中課題 課題3『篁物語』 課題4『寝ころび草』 課題5『四条宮下野集』	○	／	／	◎	○	a:重要語句の意味を確認する。和歌や漢詩の修辞技法について理解する。 d:文章構成の理解を深め、『源氏物語』の巻構成と人物関係を理解する。人物の心情把握を正確に行う。 e:助詞・助動詞の正確な理解を深める。敬語法の理解を深める。	a・d・e 授業態度・発問評価・指名音読・課題提出・課題演習・課題小テスト・定期考査
	源氏物語	『源氏物語』 「物の怪の出現」 課題6『雫ににごる』 課題7『菅笠日記』 考査後授業 課題8『小島のくちずさみ』 課題9『大鏡』	○	／	／	◎	○	a:重要語句の意味を確認する。和歌や漢詩の修辞技法について理解する。 d:文章構成の理解を深め、『源氏物語』の巻構成と人物関係を理解する。人物の心情把握を正確に行う。 e:助詞・助動詞の正確な理解を深める。敬語法の理解を深める。	a・d・e 授業態度・発問評価・指名音読・課題提出・課題演習・課題小テスト・定期考査
二学期	源氏物語	『源氏物語』 「六条院の新春」 課題10『西行』 課題11『苔の衣』 課題12『平家物語』 課題13『沙石集』	○	／	／	◎	○	a:重要語句の意味を確認する。和歌や漢詩の修辞技法について理解する。 d:文章構成の理解を深め、『源氏物語』の巻構成と人物関係を理解する。人物の心情把握を正確に行う。 e:助詞・助動詞の正確な理解を深める。敬語法の理解を深める。	a・d・e 授業態度・発問評価・指名音読・課題提出・課題演習・課題小テスト・定期考査
	源氏物語	『源氏物語』 「紫の上をしのぶ」 課題14『源氏物語』 課題15『源氏物語』 課題 16 『贈答のうた(『伊勢物語』)』 考査後授業 過去の入試問題の演習	○	／	／	◎	○	a:重要語句の意味を確認する。和歌や漢詩の修辞技法について理解する。 d:文章構成の理解を深め、『源氏物語』の巻構成と人物関係を理解する。人物の心情把握を正確に行う。 e:助詞・助動詞の正確な理解を深める。敬語法の理解を深める。	a・d・e 授業態度・発問評価・指名音読・課題提出・課題演習・課題小テスト・定期考査

三学期	物語演習	過去の入試問題の演習	○	／	／	◎	○	a:重要語句の意味を確認する。和歌や漢詩の修辞技法について理解する。 d:文章構成の理解を深め、登場人物の心情把握を正確に行う。 e:助詞・助動詞のａ正確な理解を深める。敬語法の理解を深める。	a・d・e 授業態度・発問評価・指名音読・課題提出・課題演習

（注意）副読本の漢文編・課題 1～3 は定期考査に合わせて、授業で行う演習の進度に応じて週末課題として演習する。

課題１　楚人有渉江者

課題２　孔子晨立堂上

課題３　儒者伝書言

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」についてはすべての単元に位置づけて○を付けた。またその単元の中で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付けている。